

起立不能になった高齢ホンシュウジカの治療及び飼育経過

Report on treatment and keeping of elderly Honsyu sika deer that have become unable to stand up

小野香織

Kaori Ono

要約

2017年7月28日にホンシュウジカ（メス，24歳）が起立不能となった。それ以降体の左側を下にした横臥の姿勢で過ごすようになったため，左肩部，左腰角等に当初から褥瘡を認め，その治療を行った。その後別の部位にも褥瘡ができ，いずれの褥瘡部も治癒と悪化を繰り返し，時折化膿を認めることもあった。

2020年10月頃から臼歯の摩耗により乾草をうまく飲み込めなくなり，11月6日朝から努力性呼吸を認め，検査により肺炎と診断し治療を行うが，4日後に死亡した。

起立不能になってからの3年余り，体調を崩すときもあったが，基本的に全身状態は良好で，褥瘡についても治療等の工夫で治癒させることもできた。採食や飲水も口元に持って行く介助は必要ではあったが，自力で行えており，排泄も問題なく，起立不能であること自体が個体に大きなストレスを与えることはなかったと思われ，適切に飼育できていたのではないかと考える。